

椅子の下には

椅子の下には昨夜のみかんの皮が
ふみつけられてゐたままだつた
うす暗い室に
迷ひ込んだやうな私のからだ

青ざめたお前のほほに指をかけて
私はお前のくちびるのゆがむのを
そのくちびるのどす黒くなつてゐるのを
見のがしはしなかつた

机の上には朝の新聞が
綺麗に折りたたまれて置かれてゐた
終つたものがはじまりかけたものを待つてゐるやうに

しきりに鳴る電話のベルも
額ぶちの版画の色どりも
心の別れをけしかけてゐるやうだつた